



④道路ネットワークの整備

- ▶ 圏央道や東関東水戸線の開通により東海圏・神奈川や東北・北関東など**広域的なアクセスが向上**。
- ▶ 成田空港の拡張事業の効果を広域的に波及させ、羽田空港との連携強化を図る広域道路ネットワークの充実・強化に向け、首都圏と空港を直達する**北千葉道路の整備**や、湾岸地域の渋滞を解消する**新湾岸道路の計画の具体化**を促進。

北千葉道路

整備の効果

成田空港と都心を最短で結び、
成田空港～都心の
アクセスが向上

新湾岸道路

整備の効果

都心～成田空港を結ぶ
京葉道路や東関東などの
湾岸部の渋滞緩和等
に大きく貢献

東関東水戸線

潮来IC～鉾田IC

令和8年度開通予定*

*北浦IC～鉾田IC間は令和8年度半ばの開通を目指す

整備の効果

成田空港～茨城方面の
アクセスが向上

圏央道

久喜白岡JCT～大栄JCT

令和8年度4車線化完了予定*

*資機材の調達等が順調な場合

整備の効果

成田空港～埼玉方面の
アクセスが向上

大栄JCT～松尾横芝IC

令和8年度開通予定*

*大栄JCT～多古IC間は1年程度前倒しでの開通を目指す

整備の効果

東京湾アクアラインと一体となり、
主要幹線道路と接続し、
**首都圏の広域的な
道路のネットワークを形成**

※1令和5年7月から上り線（木更津→川崎方面）、令和7年4月からは下り線（川崎→木更津方面）において、土日・祝日に時間に応じて料金を変動させる社会実験の取組を実施中

※2：新規ICについては、NAAとともに実現に向けて検討しているが、位置も含めて検討中であり、設置は未定



④道路ネットワークの整備

- ▶ 成田空港の拡張事業を踏まえた、広域道路ネットワークの基本方針策定に向け、**国・高速道路会社を交えた検討**が行われているとともに、湾岸地域を含む県北西部の**渋滞解消に向けた検討が進捗**。

首都圏空港道路ネットワーク検討分科会（令和6年9月3日～）

【目的】

成田空港の拡張事業の効果を広域的に波及させ、**羽田空港との連携強化を図る広域道路ネットワークのあり方**について検討を行い、今後の方針の立案を行う。

【構成】

国土交通省（関東地方整備局）、東日本高速道路株式会社、千葉県、空港会社 など

【これまでの確認事項】

- ▶ 現状、千葉県（成田）は、東京側（羽田）に比べて都心からの高速道路の経路選択が少ない
- ▶ 都心と成田空港を結ぶ「東関東自動車道」「京葉道路」は、**激しい渋滞が発生**する千葉県の**湾岸地域を通過**
- ▶ 首都圏と成田空港を最短で結ぶ「**北千葉道路**」、湾岸地域の渋滞を解消する「**新湾岸道路**」の**整備加速が必要**
- ▶ 併せて、**成田・羽田を結ぶ新たな軸**として、「**圏央道・アクアライン**」の**強化も必要**
- ▶ 湾岸地域を含む県北西部の渋滞を解消するためには、高速道路等から一般道までの道路の階層性に応じた**サービスレベル向上が必要**